



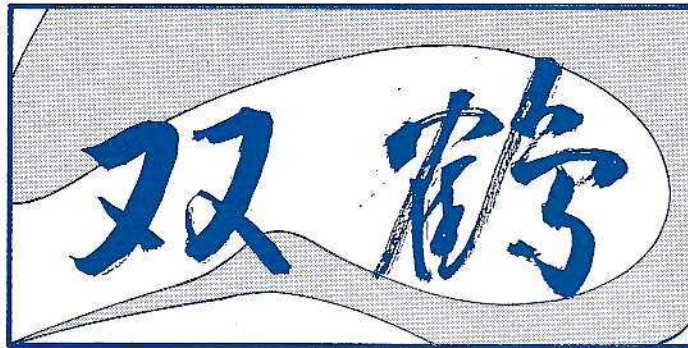
1回(昭2年卒)～
23回(昭24年卒)
卒業生2,835名



1回(明43年卒)～
39回(昭24年卒)
卒業生3,327名



1回(昭23年卒)～
77回(令7年卒)
卒業生31,665名



双鶴同窓会報

発行〒624-0841

京都府舞鶴市引土145
京都府立西舞鶴高等学校

双鶴同窓会

☎ (0773) 75-3131

編集 中西 毅
責任者 川端 征義
印刷 オガワ 印刷

西舞鶴高校を卒業後は、浪人生活を経て東京大学理科Ⅱ類へ入学しました。当時の自分は、将来のビジョンが全く描けず、いつかやりたいことが見つかるかもしれないかと思いつながら過ごしていました。結局はつきりとは見つからないまま、自分が選択できる中では一番面白そうだと思った薬学部へ進学し、大学院修士課

この度は、母校の同窓会報を通してご挨拶の機会をいただきましたことに深く感謝いたします。私は舞鶴市で生まれ育ち、西舞鶴高校を平成4年に卒業しました。卒業後は舞鶴を離れ、紆余曲折を経て現在に至りますが、今回は、これまでを振り返りつつ、現在の活動などもご紹介させていただきたいと思っています。



群馬よりご挨拶

群馬大学医学部教授 田中 和美

(平成4年卒)

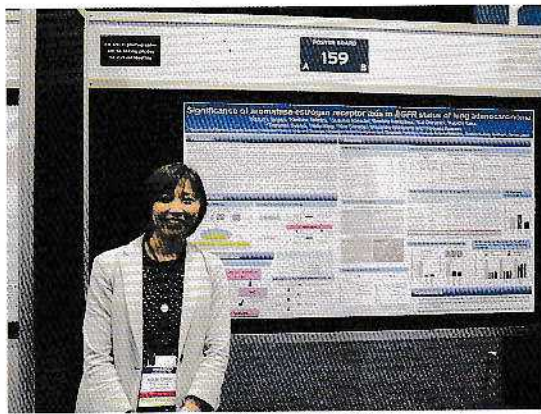
程まで東京大学で過ごしました。その頃から私がおぼろげながら頭に描いていたのは、「もっと人(臨床現場)と近いところで人と接しながら人の役に立てる仕事がしたい、人を助けられるような仕事したい」ということでしたが、やはりはつきりとした職業のイメージは抱えていませんでした。転職となったのは、修士課程が終わる頃に行われた当時所属していた研究室の教授との面談でした。「あなたの話を聞いてみると、医師になれば、あなたのやりたいことができる世の中になるのを待つより、医学を学んだほうが早く道が開ける。」と、医学部への編入学を勧められたのです。そんな経緯で、平成12年に群馬大学医学部医学科に学士編入学しました。医学部を卒業した平成16年にはちょうど初期臨床研修制度が開始され、いわゆる「スーパードクターシオン」(注1)による初期研修を行った初代となります。いつか生まれ育った地域に何か還元できればと思っていたので、研修先として舞鶴近辺の病院をローテーションするプログラムも選択肢にあったのですが、研修先の希望を登録する締め

切りの直前に、当時の舞鶴市民病院の体制が大きく変わるといふ報道があり断念せざるを得ず、そのまま群馬大学医学部附属病院(以下、群大病院)での研修を行うことになりました。その後は、当時の第二外科に入局し、消化器外科医として臨床経験を積みつつ、大学院では東京大学時代に携わっていた研究手法も取り入れながら肺腺がんと女性ホルモンの関連について研究を行い医学博士の学位を取得することができました。

次の転職となったのは平成26年です。この年、私はスキルラボという、シミュレーショントレーニングを行う施設の責任者に着任しました。ここではシミュレーショントレーニングのノウハウだけでなく、施設の管理・運営についても学びながら、医療の質の向上と安全の担保におけるコミュニケーションの大切さを感じておりました。その矢先、同年秋に腹腔鏡手術による医療事故が大きく報道さ



シミュレータを使って学生に指導している様子



国際学会での発表

れました。以降、院内の事故調査や改革に向けた取り組みの立案に協力していく中で、それまで深く知り得なかった多くの人々の思いに触れ、二度と同じ事を繰り返さないために自分にも何かできることはないだろうかと思いを模索し、医療安全を軸としてやっていくという気持ちが芽生えたのでした。平成29年には、医療事故を受けた改革の中で、医療安全体制強化の一環として、まだ日本では数少ない医療の質・安全学講座が大学院講座として新設され、私も助教としてお手伝いさせていただきました。こととなりまして、医療の質・安全学講座においては、群大病院における医療の質・安全管理部としての活動に加え、コミュニケーション、チームワーク、リーダーシップなどノンテクニカルスキルの教育や多職種連携教育といった、「病気を治療する」ことに焦点をおいた教育ではなく、「医療



世界保健機関 (WHO) で日本の国旗をバックに

者との連携を強化する、患者との信頼関係を構築する」といったことに必要な知識やスキル、態度についての教育にも携わっています。令和元年には、WHO協力センターの指定を受けている群馬大学多職種連携教育研究研修センターの一員として、約九ヶ月間、スイス・ジュネーブにあるWHO本部の患者安全部門 (Patient Safety Flagship) へ派遣していただき、国際的な視点や世界の動向を学ぶことができました。また、ちょうど新型コロナウイルス



ジュネーブにある世界保健機関 (WHO) 本部

ルス感染症の世界的パンデミックと時期が重なり、異国の地でロックダウンを経験し、辛いこともありましたが貴重な経験をたくさんさせていただきました。帰国後には、また医療の質・安全学講座に戻り、前任教授の退官に伴い、令和5年4月から二代目の教授に就任し、現在に至ります。

高校時代、まさか将来自分が社会の教科書に出てくる国際機関で働くことになるなんて夢にも思いませんでしたし、当時はロールモデル(注2)もありませんでした。一方で、振り返ってみると時代の変化とともに新たな分野が発展し、その流れに沿うように進むにつれ道が拓け、ずっと大事にしてきた思いがようやく形として示せるようになってきたのかなと感じています。

医療安全の推進に向けた活動

現在私が教授を務める医療の質・安全学講座は、医療事故後の改革の中枢となっており、大学院講座として教育や研究を行うだけでなく、群大病院においては医療の質・安全管理部として、病院における医療の質と安全を守る役割も果たしています。

群大病院の取り組みとして最も特徴的なのが、「患者参加型医療」の推進です。患者参加型医療とは、患者が自身の受ける医療についてただ受け身になるのではなく、医療者とともに考え、理解し、納得した上で自身にとって最善の医療を受けることを言います。



世界保健機関 (WHO) で世界の患者安全を支える仲間たちと一緒に

この取り組みの一つとして、患者が自身の診察記録(電子カルテ)を自由に閲覧できる「カルテ共有」のシステムを令和元年から導入しています。医療者も最初は不安を感じていましたが、閲覧した方々の反応は極めて良好で、現在は医師、看護師の約八割が賛同してくれるようになりました。また、インフォームド・コンセント(IC)(注3)の充実にも注力しました。特に手術や侵襲(注4)の大きな治療については、ICの際にできる限り看護師が同席し、患者を擁護する役割を果たしています。また、電子カルテと連動してICを録音できるシステムも構築しました。

これらの取り組みを通して、医療者が患者に包み隠さず説明し向き合う姿勢を示すことで、患者との間の信頼関係が構築でき、ICがただ単に医師が



医学部医学科の授業

説明し、患者の同意を得るというプロセスではなく、医師が様々な情報を提供する一方、患者も価値観や生活スタイルを医師らに伝えて一緒に意思決定していく「共同意思決定」の場となります。このように、患者参加型医療、共同意思決定の概念は、これからの医療のあり方として当たり前になるという点と強く願いながら、その重要性を職員に伝えていきます。しかし、まだ一つの病院での限られた取り組みに過ぎず、大学病院を受診する多くの患者は地域の病院から紹介され、また地域の病院に戻っていくことを考えると、地域全体、そして日本全体に広がっていくことが望まれます。

そのための「土壌づくり」の一環として、学生教育も重視しています。医療安全の実践に不可欠なコミュニケーションやリーダーシップに代表される力「ノンテクニカルスキル」、起きた事象の一部だけに注視するのではなく、事象の全体像をシステムとして捉え、問題解決を目指す思考法である「システム思考」などは医療の知識がなくとも日常生活に置き換えて学修することが可能ですので、一年生から体系的に学べるようにカリキュラムを工夫しています。最も大切に行っているのは、患者を「病氣」ではなく、「一人の人間」として捉えることで、当たり前ですが「患者」という職業の人はいないということを伝えていきます。このため、特に低学年のうちは、いわゆる「医療者としての振る舞い」ではなく、患者・家族がそれをどの様に感じるかについて、ロールプレイなどを取り入れながらしっかりと学ぶことを大切にしています。医療安全について卒前から体系的に学んだ学生が、やがて研修医となり、



第7回閣僚級世界患者安全サミット（マニラ）でのパネルディスカッションの様子

次の世代を担う医師へと育ちます。そしていずれは指導医になっていきますが、その頃にはようやく真の成果が出てくるのではないかと思います。

医療安全教育を体系的に行っている大学はまだ日本では数少なく、私たちが構築した教育手法を世に広めていくことも重要な使命です。群馬大学には、令和5年に文部科学大臣により共同利用拠点に指定された「多職種人材育成のための医療安全教育センター」があり、私は副センター長を務めています。このセンターを通して、全国に仲間を増やし、医療安全教育手法を普及する活動も行っています。

こういった取り組みを進めていくことで、地域の皆さんに、真に信頼され誇りに思っていただけ病院になればと考えています。そして、地域の医療全体に、安全を大切にする文化が定着していくように、さらにそれが舞鶴も含め、日本中に広がっていくように、仲間を増やしながらか役割を果たしていきたいと思っています。

【注釈】

*1 スーパーローテーション…医師の初期研修の際に、内科や外科、小児科などさまざまな科をローテーションして勉強する方式です。

*2 ロールモデル…英語で「ロール」は役割、「モデル」は見本・お手本を意味します。「ロールモデル」とは、仕事を進めるうえで行動や考え方の模範となる人物のことです。

*3 インフォームドコンセント…患者が病氣や容態、検査や治療の内容、処方される薬などについて十分に説明を受けて理解し、自分の意思で医療行為や治療に同意することです。

*4 侵襲…生体を傷つけること、または生体の通常の状態を乱す刺激を意味する言葉です。投薬や注射、手術などの医療行為をさします。

田中和美先生の略歴（平成4年卒・平4高）

平成4年 西舞鶴高等学校 卒業
 平成10年 東京大学薬学部薬学科 卒業
 平成12年 東京大学大学院薬学系研究科修士課程 修了
 平成16年 群馬大学医学部医学科 卒業
 平成18年 群馬大学医学部附属病院 臓器病態外科（第二外科） 医員
 平成26年 群馬大学医学部附属病院医療人能力開発センター 助教・スキルラボ管理責任者
 平成28年 群馬大学大学院医学系研究科博士課程 修了
 平成29年 群馬大学大学院医学系研究科 医療の質・安全学 助教
 令和元年 世界保健機関（WHO）本部 Patient Safety Flagship（患者安全部門）へ出向
 令和5年 群馬大学大学院医学系研究科医療の質・安全学 教授
 群馬大学医学部附属病院医療の質・安全管理部 部長

学位：医学博士、薬学修士

ご挨拶

校歌と母校への思い

双鶴同窓会会長 内藤 行雄



同窓生の皆様には、ますますご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。また、日頃は、同窓会の諸活動に、温かいご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、同窓会では、例年通り六月に地元舞鶴で総会および懇談会が、十一月には東京支部総会が開催されました。また一月二日には、同窓会の伝統行事となつています「卒業三十周年記念同窓会」が平成六年卒（四十六回生）によって、百六十名を超える同級生が出席し盛大に開

催されました。また、引き続き翌日の三日には、コロナ禍の影響により開催が延期されてしました平成二年卒（四十二回生）の「卒業三十周年記念同窓会」が開催されました。私事になりますが、この学年は私が教員となり母校に勤務し初めて担任した学年であり、この日ばかりは同窓会長を忘れ一人の卒業担任として楽しく懐かしい時間を過ごしました。近隣の学校にはないこの伝統行事が途切れることなく引き続き開催されることに改めてありがたく、誇らしく感じ

この「卒業三十周年記念同窓会」は別として、それ以外の行事の参加状況を見ると、以前に比べ参加人数が少なくなったように感じています。これは各支部でも同様の悩みになっているようで、今年の「三十周年記念同窓会」では、出席いただいた各支部長から出席者に對し各支部総会への参加が呼びかけられ、併せて参加者に対して各支部への住所連絡が呼びかけられていました。すぐに改善されるとは思いませんが、いずれ本部総会、各支部総会に以前のような賑わいが戻ってくることを願っています。

ところで話は変わりますが、私自身同窓会長として入学式、卒業式などの学校行事に出席する機会があり、その中で校歌斉唱の際にはいつも生徒に負けないうような大きな声で歌っていました。

然と校歌が口から発せられたのだと思います。今やスポーツの世界でも自主性が当たり前で鍛えて育てるなどとてもないことと思いますが、あの頃鍛えていただいたおかげで、いつまでも校歌を忘れることなく、母校に對するいろんな思いを巡らすことが出来るのだと思っています。

同窓生の皆様には、多忙な毎日をお過ごしのことと存じますが、同窓会行事への積極的な参加をお願いし、ますますご活躍いただきますようお祈り申し上げます。ご挨拶とします。



ご挨拶

校長 田邊 仁司



双鶴同窓会の皆様におかれましては、益々御健勝にて御活躍のこととお慶び申し上げます。また、平素より本校の教育活動に深い御理解と温かい御支援をいただいておりますこと、心より感謝を申し上げます。

本年度、全日制課程では五八二名の生徒が在籍しており、一学年五クラスの規模となっております。理数探究科、二年次から文系コース・文系特進コース、理系コースに分かれる普通科で

学んでおります。高校選抜制度が変わったこともあり、生徒たちは、地元舞鶴市だけではなく、様々な地域から通っております。昨年度の卒業生は、京都大学一名、大阪大学二名など国立大学に延べ五六名が合格しました。大学入試制度も多様化してきており、国立大学合格者の中には、学校推薦型選抜・総合型選抜（旧AO入試）によるものも増えてきています。教科の学力に加えて、探究活動や学校行事、ボランティア活動等で

身につけた力を活かして進路を切り拓く生徒が増えてきております。進路状況の詳細は、十五ページをご覧ください。通信制課程では一三四名が在籍しており、高校卒業資格取得や希望進路の実現を目指して、スクーリングとレポート作成に励んでおります。また、定時制通信制高等学校総合体育大会や定時制通信制生徒生活体験発表大会、体育祭や彩雲祭、校外学習といった様々な学校行事にも取り組み、幅広い年代の生徒たちが熱心に学んでおります。

さて、令和五年十二月に京都府教育委員会によって策定された本校全日制のスクール・ミッション（各学校の存在意義や期待されている社会的役割、目指すべき学校像）は「理数探究科、普通科を設置する高校として、地域連携や高大連携による探究活動、学習と部活動の両立を充実させることにより、高い学力を身に付け、知・徳・体の調和のとれた人間の形成を目指す。将来の科学技術分野を担う人材を育成する。」となっており、理数探究科や普通科理系コースでの教育に期待されています。と感じておりますが、文系や文特コースでの取組も大切にし、多様な希望進路を実現するための教育活動を行ってまいります。一方、通信制のスクール・ミッションは「通信制課程を設置する公立高校として、様々な学習歴をもつ個々の生徒に對した添削やスクーリング等によって、生涯学習と社会的自立の基礎となる学力を身に付け、

社会に主体的に参画できる心豊かな人材を育成する。」となっております。通信制で学ぶ目的は様々ですが、多様な生徒たちの学びを支えてまいります。変化が激しく、予測が困難なVUCAの時代において、新しい学びの形を創造し、次世代を担う人材を育成するため、いっそう努力してまいりますので、同窓会の皆様方の一層の御理解と御協力をお願いいたします。結びにあたり、双鶴同窓会の御発展と会員の皆様の御健勝と御多幸を心より祈念し、御挨拶とさせていただきます。



双鶴同窓会会計報告

令和6年度一般会計報告書

(令和6年5月1日～令和7年4月30日)

I 収入の部 3,365,131円

項 目	決算額	摘 要
前年度繰越金	1,428,689	
入 会 金	880,000	@4,000×220名(全日制187名、通信制33名)
記念誌等売上	0	
寄 附 金	996,207	昭和48年・平成2年・平成3年・平成6年卒業生寄附
雑 収 入	60,235	総会祝儀 60,000円 預金利息 235円
合 計	3,365,131	

II 支出の部 2,208,457円

項 目	決算額	摘 要
事 業 費	776,229	各支部補助、会報印刷代、講師謝礼、総会懇親会補助
会 議 費	38,500	理事会・総会会場費
支部関係費	126,380	東京支部総会祝儀、旅費
通信交通費	85,231	同窓会報郵送料、HPサーバー使用料、寄附金礼状 総会連絡用ハガキ 他
事務局費	80,910	卒業アルバム代、卒業50周年・30周年記念同窓会祝儀 同窓会名簿発行に伴うドローン空撮料(学校周辺) 他
特別会計へ繰入	996,207	昭和48年・平成2年・平成3年・平成6年卒業生寄附金 特別会計へ振替
雑 支 出	105,000	卒業生井上愛里沙選手パリ五輪出場横断幕他
合 計	2,208,457	

III 残高の部 1,156,674円(次年度へ繰越)

令和6年度特別会計報告書

(令和6年5月1日～令和7年4月30日)

I 収入の部 11,025,603円

項 目	決算額	摘 要
前年度繰越金	10,028,768	
繰 入 金	996,207	昭和48年・平成2年・平成3年・平成6年卒業生寄附
雑 収 入	628	預金利息
合 計	11,025,603	

II 支出の部 0円

項 目	決算額	摘 要
事 業 費	0	
合 計	0	

III 残高の部 11,025,603円(次年度へ繰越)

以上、報告します。

令和7年5月7日

双鶴同窓会 会 長 内 藤 行 雄
〃 理事長 渡 辺 弘
〃 会 計 臼 井 俊 博

令和6年度 事業報告

令和6年

4月22日(月) 第1回本部役員会 於 双鶴会館

- (1) 令和6年度双鶴同窓会役員について
- (2) 総会について
- (3) 令和5年度仮決算報告について
- (4) 会報発行の進捗状況について
- (5) その他

5月31日(金) 第2回本部役員会 於 双鶴会館

- (1) 総会について
- (2) 令和5年度決算報告について

6月8日(土) 同窓会報「双鶴」第48号発刊(一般会員向け)
令和6年度理事会・総会開催 於 舞鶴グランドホテル

- (1) 理事会 32名 参加
- (2) 総 会 75名 参加

(3) 記念講演
演 題「子どものやる気を引き出す
今日的な指導の在り方」
～強い競技者である前に強い人間であれ～
講 師 秋 原 栄 人 氏
(舞鶴市教育委員会 指導理事)

- (4) 懇親会 63名 参加

8月24日(土) 双鶴同窓会通信制同窓会
内藤行雄会長が出席 於 舞鶴グランドホテル11月9日(土) 双鶴同窓会東京支部総会開催
内藤行雄会長以下3名が出席 於 新宿京王プラザホテル

令和7年

1月2日(木) 高校46回生卒業30周年記念同窓会
内藤行雄会長が出席 於 舞鶴グランドホテル1月3日(金) 高校42回生卒業30周年記念同窓会
内藤行雄会長が出席 於 舞鶴グランドホテル

2月28日(金) 同窓会報「双鶴」第49号発刊(卒業生向け)

会計監査報告

- 1 監査実施年月日 令和7年5月15日(木)
- 2 監査実施場所 京都府立西舞鶴高等学校
- 3 監 査 の 対 象 双鶴同窓会にかかる会計帳簿、
収入・支出証拠書類及び預金に
関すること

上記のとおり監査を行った結果、帳簿、証拠書類、
保管預金ともに正確に処理されており、適正であった
ことを報告します。

令和7年5月15日

双鶴同窓会長 様

双鶴同窓会
会計監査 甲斐嶋 純 二 ㊞
会計監査 福 井 啓 介 ㊞

卒業! 30周年!!

第42回卒業生

この度、平成二年卒の同窓会を四年越しに一月三日に開催させて頂くことが出来ました。

当初の三十年に当たる年がコロナ禍の真ただ中でしたが、クラス委員の皆様に住所の確認作業や行方不明者になっている方々の追跡をお世話になり、住所録は作成出来ておりました。

しかし長引く自粛の影響で、四年前の開催を断念した経緯がございます。そして令和四年の五月からコロナが五類に分類され、通常生活が戻り出したこともあり、通常年度の同窓会の邪魔にならないように日程を調整し、今回の開催にこぎつけました。

事前には百四十名を超える出席予定で、インフル等で十名程急遽欠席の方がいましたが、結果として百三十名を超える方々にお集まりを頂きました。終始和やかに皆が談笑している姿は役員一同としても、開催出来て良かったなと思える瞬間でもありました。また、何年も会ってなかった方々とも違和感なくお話出来るのも同窓会ならではの思い出でした。それにこの西舞鶴高校の歴史ある同窓会の伝統を私達の代で止めることにならずに本当に良かったです。今後この伝統が受け継がれていきますように。

最後になりますが、平成二年卒の事務局及びクラス委員の皆様のご尽力のおかげで、無事に開催出来たこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。有り難うございました。

第四十二回卒業生

三十周年記念同窓会実行委員長 岸田哲弥



▲会長と実行委員長



▲校長挨拶



京都支部長挨拶



阪神支部長挨拶



恩師挨拶



実行委員長



来賓と実行委員役員



来賓の方々



実行委員会



卒業! 30周年!!

第46回卒業生



▲ ご来賓



▲ 恩師



5組



8組



11組

当日は、多くの皆さまにご参加いただき、誠にありがとうございました。
また、公私ともにご多忙の中、ご臨席を賜りましたご来賓の皆様、恩師の皆様、そして、地元はもとより、遠路はるばるご参加くださいました同窓生の皆さんに、心より御礼と感謝の意を申し上げます。

今回、クラス委員を含む実行委員会の方々にも大変お世話になりました。実行委員会の仕事を通して皆様と貴重なそして笑顔あふれる時間を共有できましたことをうれしく思います。

さて、当日には、久々に舞鶴に帰って来られました方もいらっしゃるかもしれませんが、地元にお住まいの方々でも、なかなかお会いする機会がなかった方等、こうして、懐かしい卒業生が一堂に会し、元氣な、またステキな笑顔で再会できましたことは、この上ない幸せであり、喜びに堪えません。

それぞれが異なる進路に進み、色んな経験を積み、今日まで頑張ってきたことと思います。

当日は、学生時代に戻り、積もり積もった昔話や、昔言えなかったことなども織り交ぜ、大いに花を咲かせ、旧交を温めて、今後の新たな交流の機会になりました。

また、恩師の先生方にもご臨席をいただき、懐かしい恩師を囲んでの懇親も、存分に深めることができました。

最後に、当日ご出席していただきました皆様のご健康とご多幸を祈念を申し上げ、実行委員を代表いたしまして、お礼のご挨拶とさせていただきます。

第四十六回卒業生

三十周年記念同窓会実行委員長 長谷川 守



2組



1組



4組



3組



7組



6組



10組



9組



東京支部は、昨年十一月九日(土)新宿京王プラザホテル「扇の間」に於いて、二年に一度の支部総会・懇親会を開催しました。当日は、内藤同窓会長、武内通信制副校長、福田舞鶴副市長、齋藤京都支部長、谷村阪神支部長をはじめ十五名のご来賓臨席のもと、総勢八七名にて盛大に開催することができました。今



総会に先立って、これも二年に一度の会報誌「いわし雲」を発行し、輝かしい歴史と伝統を誇る「舞中・MAIKO野球部」を特集しました。若い同窓生の中には、昭和四七年の京都府優勝を知らない人も多く、年配の同窓生でも昭和四七年の優勝は知っていても、昭和二八年の優勝は知らない人が多いので、同窓生がみんな歴史を知ることにより、その伝統と誇りを共有したいという思いを込めま

回の特徴は、東京支部会員以外に舞鶴や阪神・京都支部から十三名の参加があったことで、支部の垣根を越えた交流をしようという最近の流れを反映したものでなりました。



した。作成にあたっては、学校や先輩から多数の資料提供を受け、また京都府図書館より当時の新聞記事のコピーを取り寄せました。その流れで、総会・懇親会当日には、昭和四七年の京都府優勝時メンバーであるキャプテン原田易典氏はじめエース小河浩氏、ショート松原康浩氏、センター小野寺勝司氏の四氏にお越しいただき、壇上で当時の思い出や秘話等を語っていただき、当時を懐かしむ会員からの質問も含め、会場から喝采を浴びました。また、当時の野球部顧問故谷口先生のご子息谷口文紀氏から提供いただいた数多くの写真を会場で流しました。続く阪神支部の池本徳

概要は次の通りです。
日時 十一月八日(土)
十二時~十五時



和氏とご友人によるニューオーリンズジャズのライブは、「私を野球に連れてって」の演奏から始まり、これもたいへん盛り上がりました。前回は、コロナ禍の後でもあり、「とにかく集まる」ということを主眼にして開催しましたが、今回は盛りだくさんの趣向で参加の皆様に変化をお喜び頂けたのではないかと思います。来年の「いわし雲」の発行、総会・懇親会開催に向けて、幹事のキックオフミーティングを四月に開催しました。早くから準備に掛かり、より良い総会を目指し進めて参ります。
(事務局 澤田謙二)

昭和五十六年から平成九年までグンゼ株式会社社長遠藤源太郎氏(舞中十四回)が阪神支部長に就任されました。そして阪神支部事務局はグンゼ株式会社秘書室に設けられました。理事会、評議会はグンゼの会議室で開催され、同窓会の郵便物は秘書室の協力のも

場所 ホテルプラザオーサカ(阪急電車十三駅下車 西口徒歩五分)
昨今のホテル宴会料金高騰のため、開催ホテル選定には大変苦勞致しました。阪神支部総会・懇親会の内容につきましては、今後理事会、評議会で検討して決めていきたいと考えています。
さて、昭和五十年の阪神支部結成以来五十年の歳月が流れようとしています。昭和五十年以前、阪神地区の同窓生は私的懇親会を開催していたものの公式には京都支部総会に出席していません。
当時双鶴同窓会長であった井関勉氏の働きかけを、阪神地区同窓生の全面的合意のもと双鶴阪神支部が結成されました。
以降、舞鶴中学出身者のリーダーシップにより阪神支部の全盛期を迎えます。
昭和五十六年から平成九年までグンゼ株式会社社長遠藤源太郎氏(舞中十四回)が阪神支部長に就任されました。そして阪神支部事務局はグンゼ株式会社秘書室に設けられました。理事会、評議会はグンゼの会議室で開催され、同窓会の郵便物は秘書室の協力のも

と發送受理されていたようです。

現在の会社組織ではコンプライアンスが厳しく、このような事は出来ないと思いますが、当時は良い意味でおおらかであったと思います。

遠藤支部長が退任した後、数年間、阪神支部事務局はグンゼ株式会社総務課にありました。当時、私達一般同窓生もグンゼ株式会社と双鶴阪神支部は強い絆でつながっていると感じていました。

阪神支部の活動が盛んだった時期、定時総会とは別に高校部会の総会を開催していました。特に、平成五年の第十回定時総会と、その前年に開催された高校部会総会の、出席者の合計は五百五十名になりました。

その後、阪神支部総会の出席者は徐々に減少して現在に至っています。

出席者が減少しても工夫次第で楽しく中身のある盛り上がった同窓会を開催できることは分かっています。

一瞬、支部総会出席者数の多い少ないにこだわる必要はないのではないかと、う考えが頭に浮かびますが、でもやはり、阪神支部総会出席者の若返りと、あ

る程度の出席者数の確保は阪神支部の最も重要な課題の一つであります。

阪神支部、理事、評議員一同ボランティア活動の一端として如何にしてザックバランで楽しい同窓会にすべきかを常に考えて支部活動を行っています。

同窓生の皆様のご理解とご協力をよろしく願います。

(支部長 谷村久兒雄)



京都支部

京都支部は本年九月六日(土)、京都タワーホテル九階飛雲の間において、総会・懇親会の開催を予定して

おり、会の成功を期して、一月に準備委員会を発足させたところ。コロナ禍により中断していたものを、一昨年復活させることができたこの会を、軌道に乗せなければいけないところで

す。京都を中心とした近隣に居住される方に限ることなく、たくさんの方の双鶴同窓生の方に情報交換の場、交流の場として、貴重な時間を過ごしていただきたいと思っております。気軽に参加していただく場にしたいと思っています。ちなみに前回

においては、東京・神奈川・石川・岡山からも参加いただいております。

総会・懇親会への出席者の固定化・高齢化は、東京・阪神・京都三支部の共通の課題となっているところ

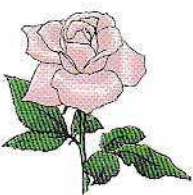
です。私の個人的感想ですが、高校を卒業し舞鶴を離れてから五十年経過しているものの、やはり、舞鶴の

天気予報の時の五老ヶ岳からの眺望を見ると懐かしく思うとともにホッとした気持ちになります。また、近く

に同郷の人がいれば、とても心強いです。故郷というものは、ありがたいものと感じるのと同時に、舞鶴とのつながりは保っておきたいと思っております。

今回の総会・懇親会の開催にあたりましては、これから本格的に計画・準備していきますが、本部をはじめとして東京支部・阪神支部の皆様にも御支援賜りますようよろしくお願いいたします。

(事務局長 志茂洋文)



通信制の会

新しい年度を迎えて単位制の通信制では、十七名の新入生が入学。転・編・再入学生二十七名も加わったと聞いています。

通信制では面接指導、報告課題、調査、特別活動など、本校の掲げる「究理・尚志・敬人」の教訓と学習

面と部活動との文武両道に励み、そして高めて、通信制課程を全員揃って卒業され、同窓会名簿に名を連ね

てください。双鶴同窓会通信制の会では新入会員の皆さんに同窓会のご案内と会報をお届けさせていただきます。

二月二十八日の卒業式には通信制三四名の生徒が卒業され全日制と通信制の卒業式の後、あらためて通信制合同ホームルームで担任の

先生方から卒業証書、そして校長先生から通信制課程における校長賞が授与され、生徒会から卒業生とその家族を祝う会が行われました。

双鶴同窓会通信制の会では、二年に一度同窓会を開催しています。昨年八月二十四日には舞鶴グラウンドホテルにて双鶴同窓会長内藤行雄様始め校長の田邊先生、

副校長の武内先生・恩師の方々の御臨席を賜り同窓会(総会・懇親会)を行いました。総会では議事の承認を得て、懇親会では近況報告や通信制の入学から卒業までを成し遂げた思いを語り合い、カラオケを楽しんだり、思い出を新たに校歌の合唱などでお互いの旧交を温め合ったりしたところ

です。昨年の十一月二十七日には、通信制課程の文化祭である彩雲祭が行われ、食堂でランチカフェ、双鶴同窓会館では作品展示、体育館では文化の集いなどが行われ

ました。また通信制と全日制の交流の一環として、全日制の吹奏楽部の演奏や美術・書道展が行われ、渾身の作品などが出品され、多くの生徒の皆さんが協力して彩雲祭を盛り上げ、楽し

れました。来年は通信制の同窓会が開催されます。今後共、双鶴同窓会通信制の会の活動

になお一層の御支援御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

(通信制の会会長 岩田 護)





西舞鶴の歴史を知るならココ！

●舞鶴ふるさと発見館（郷土資料館）

舞鶴の歴史展示やまち歩きの見聞情報を提供している郷土資料館です。舞鶴西総合会館内に併設されています。



●田辺城跡（舞鶴公園）

かつて田辺城本丸が存在した周辺を公園として整備しています。城門内にある資料館では、田辺城の歴史を詳しく知ることができます。



西舞鶴と漁業

● 漁業の変化

～近代以前～

1728 年以降に現在の吉原地区に漁師が集まり、田辺城籠城戦の活躍によって漁猟の自由が認められました。



～近代以降～

1900 年移行、舞鶴湾が東は軍港、西は商港へと変化し、沿岸漁業から沖合漁業に変化していきました。1904 年に官設鉄道舞鶴線が開通し、水産加工品を都市部に送り込めるようになりました。

● 漁業景觀

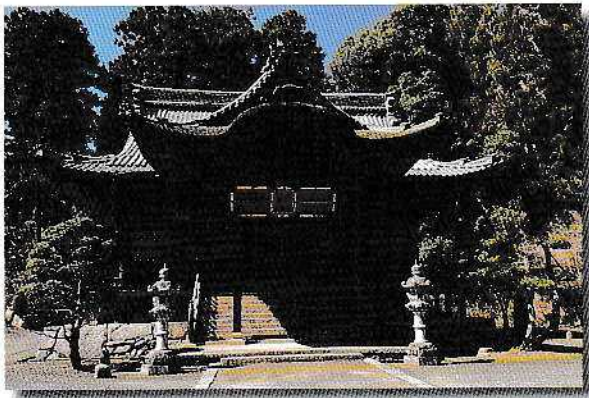
昭和初期まで網干場を地先に所有していました。舞鶴湾内九景ヶ浦の一つに選ばれ、「吉原の曝網」として知られています。





★ 田辺城(西舞鶴)の歴史

田辺城は本能寺の変後、細川幽斎の隠居城として1590年頃に築城。天守台と本丸を中心に、二の丸・三の丸、さらに堀と伊佐津川と高野川に囲まれている防御力の高い城でした。細川・京極・牧野氏の居城として約290年もの間、領内統治の中心的存在でしたが、1873年に廃城されました。かつての本丸周辺が整備され、「舞鶴公園」として地域の人に愛されています。



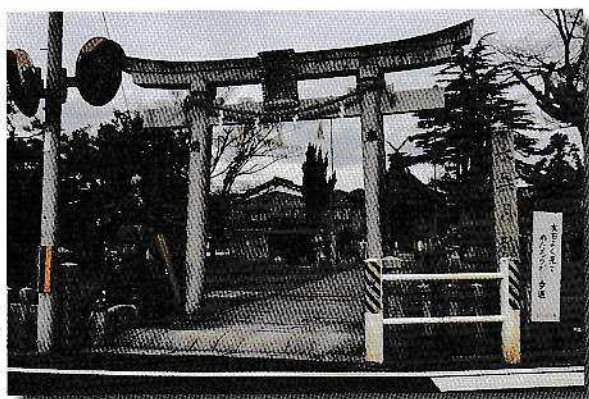
★ 円 隆 寺

真言宗の寺院で奈良時代に行基菩薩が創建、995～999年に皇慶上人が中興したと伝えられています。また背後の愛宕山は、古くから信仰の対象とされ、村では火除けの御利益があると「愛宕信仰」が広まりました。「吉原の万灯笼」では、この円隆寺で神火を授かります。



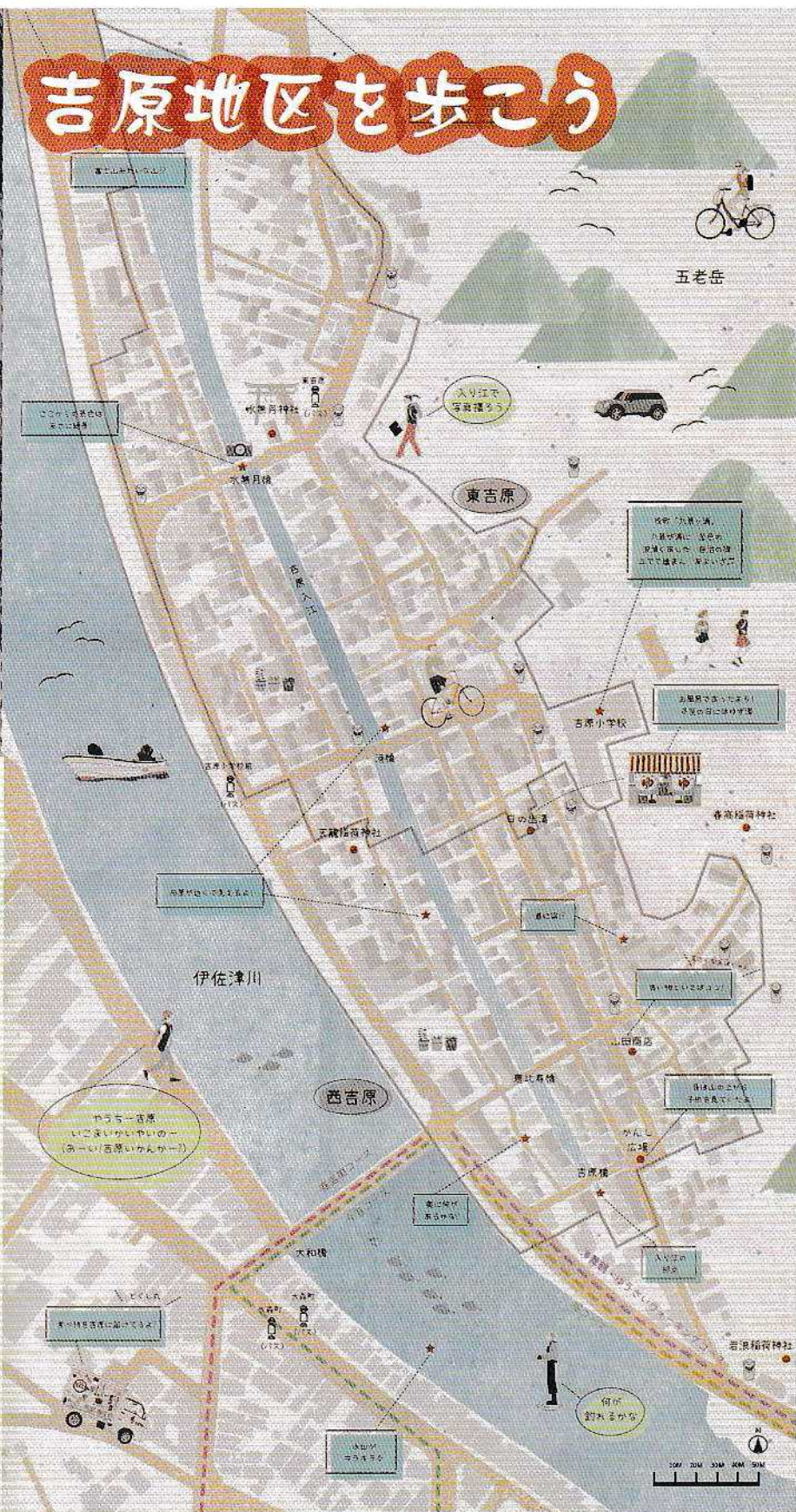
★ 朝代神社

673年に創建されたと伝わる神社で、淡路島に鎮座していた日ノ若宮の分堂を勧請したのが始まりと伝えられています。4年に1度「吉原の太刀振」が奉納されます。



★ 水無月神社

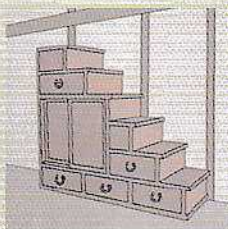
地区が移動してきた当時(1727年)、この地域では低湿地が原因で悪病が流行してしまいました。人々は厄除けのために水無月神社を建て、そのおかげで病人はたちまちよくなったと言われています。また、1912年に鳥居を立てた際には鯖が大漁となったそうです。現在も日頃から子供たちが集まって遊び、太刀振や年に1度のお祭りには多くの人が集まる場所として、吉原の人に深く愛されている神社です。



漁師町吉原地区を歩こう!!
Let's Walk around Yoshiwara!!

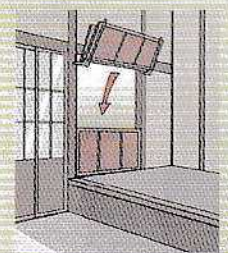
吉原地区の建物紹介

●箱階段



木製の箱を重ねたような形態の階段で、近世の町屋などで多く見られます。町屋は狭く収納スペースが十分に確保できないため、階段側面に引き出しを付け、物入れとして利用していました。

●摺り上げ戸



壁面に沿わせて板戸を上下させる形の建具です。木製のシャッターのようなモノです。板戸は天井部分に収納することができ、下ろす板を一枚、二枚・・・と変えることで、外からの視線や明かりをコントロールすることが出来ます。

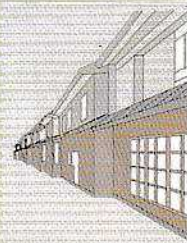
●舟屋

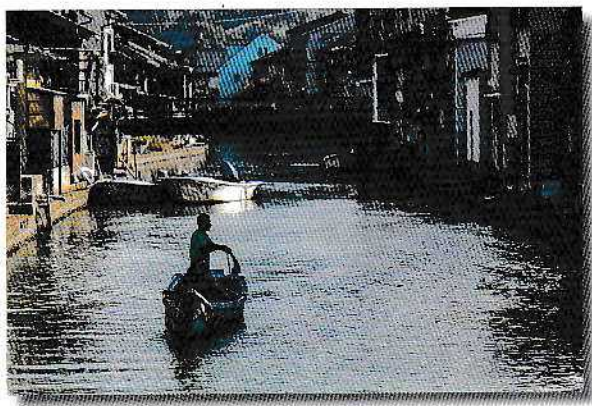
並んでいる家屋を入江側から見ると、漁で使う船を直接引き込んで収納していた舟屋（ふなや）が見えます。海面の干満差が小さい沿岸でしか見られないこの形態は、日本海側の漁港景観としてとても珍しいものでした。現在は入江の護岸整備にもなっている昔のように使われている舟屋はありませんが、住宅や物置として改築され、今もなおその敷地と形態の名残を感じさせます。



●敷地割

吉原に立ち並ぶ東西の奥行きは、南に行くにしたがって短くなっているため、デコボコとした敷地割になっているところがあります。現在の東西の奥行きは、道幅の整備と吉原入江の護岸の整備により、敷地のずれはほぼ改善されています。また、間口が4m前後の家が連なっており、この景色は吉原の大きな特徴の1つといえます。





区独自の建築景観です。間口が狭くて奥に長いこの家は舟屋の名残を感じさせます。また吉原地区では太刀振や万灯籠のお祭りも盛んで、地域と人、人と人が関わり合う魅力あふれる町です。人々の暮らしを感じながら、吉原地区を歩いてみましょう！

★ 吉原地区の概要

1727年の田辺城下の火災によって現在の位置に移転してきた吉原地区は、移転前から漁師が住む町として栄えてきました。漁師たちは吉原入江から海へと向かい、漁が終わると海に面した舟屋に帰ってきます。舟屋の数は少なくなったものの、今も漁師が暮らしている吉原の入江には、多くの船が集まっています。町と水路が交わるその景色は、イタリアにある水の都・ヴェネツィアになぞらえ「東洋のヴェネツィア」とも呼ばれます。入江の景色だけではなく、細長い家が並んで細長い路地をつくっている景色も吉原地区



★ 吉原の万灯籠 (まんどうろ)

江戸時代中期、クラゲが大量発生した際に、海神の怒りを鎮めるため始まったと伝えられる火祭り。魚型の万灯籠に愛宕権現（あたごごんげん）を祀る円隆寺から受けた神火をつけ、川の中に立て回転させる勇壮な火祭りです。

（府登録無形民俗文化財）



★ 吉原の太刀振 (たちぶり)

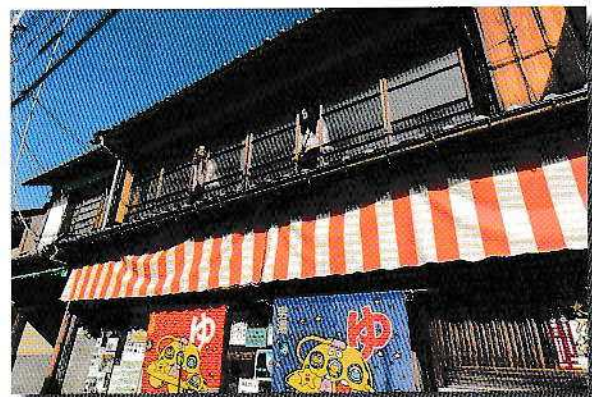
田辺城の籠城戦において吉原の漁師の勲戦した技を武芸の型として伝えたものと伝えられています。11月3日に朝代神社で行われ、4年に1度奉納される祭礼芸能です。

（市指定無形民俗文化財、府登録無形民俗文化財）



★ 日の出湯

日の出湯は、吉原に残る大正9（1920）年開業の銭湯です。町屋風の造りで2階には床の間付きの座敷があり、2021年2月に国有形文化財に登録されました。



※地図をはじめとした資料の多くは舞鶴市から提供いただきました。

令和6年度 がんばってます 部活動

全 日 制

囲碁将棋部

上 林 湊 (2年)

〈全国大会〉

★第48回全国高等学校囲碁選手権大会
出場

★第48回全国高等学校総合文化祭
囲碁部門 出場

〈近畿大会〉

★第44回近畿高等学校総合文化祭
囲碁部門福井大会 入賞



柔 道 部

布 川 怜 央 (2年)

〈近畿大会〉

★第66回近畿高等学校柔道新人大会
(個人試合) 出場



通 信 制

■【9月22日(日)】 第76回京都府高等学校定時制通信制総合体育大会 陸上競技の部

男子5000m 優 勝 櫻井 悠登

女子砲丸投げ 優 勝 増留 葵

■【10月27日(日)】 第60回近畿高等学校定時制通信制課程体育大会 陸上競技の部

男子5000m 第4位 櫻井 悠登

■【9月21日(土)】 令和6年度京都府高等学校総合体育大会・第70回両丹高等学校定時制通信制
総合体育大会

ソフトバレーボール 優 勝 浦田 優、増留 葵、浦川 博司、杉山 訓崇、森本 菜夢

女子バドミントン 第3位 高本 咲良、大藪 優妃、西山 伊織

■【9月12日(木)】 令和6年度第20回京都府高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会

優秀賞・京都市教育長賞 櫻井 悠登



楠 理久「人参も
黄昏れるんやで」

部活動のうちの九四％の生徒が三年間進路実現を果
たしました。国公立大学の合格者
が、進路指導部長
川上頭広
進路決定先

進学 (178 名)			就職 (4 名)	
4 大	短大	専各他	民間	公務員
146	9	23	2	2

母校Report
進路指導部長
川上頭広
進路決定先

同窓会員の皆様には、本校の
教育活動と向き合い進路指導に
対して御支援をいただき、誠
にありがとうございます。今
までの「西高」の伝統に違
うことなく、多くの生徒が惜
しみない努力を続け、進路実
現を果たすことができました。
就職では学校紹介による民
間企業に二名が内定しまし
た。舞鶴市を含む京都府北部
地域の多くの事業所
から求人票を御送付
いただき、誠にあり
がとうございました。
た。公務員では海上
自衛隊、福知山市職
員(消防士)に二名
が内定しました。本
校は二年次より、公
務員試験対策講座、
労働法規に係る学習
会などを通じて、職
業観や勤労観を醸成
し、社会人としての
自覚を促す機会とし
て進めています。
進学では京都大学一名、大
阪大学二名、神戸大学二名、
京都工芸繊維大学三名、京都
教育大学四名などを含む五六
名が国公立大学に合格しまし
た。京都府立大学三名、京都
府立医科大学一名、福知山公
立大学五名など、地元の公立
大学での合格者も多く輩出し
ました。国公立大学の合格者
のうち九四％の生徒が三年間
進路実現を果

卒業生の進路状況

京都府立西舞鶴高等学校 双 鶴 同 窓 会 会 則

- 第1条 本会は双鶴同窓会という。
- 第2条 本会は本部を西舞鶴高等学校におく。会員多数在住の地には支部を設けることができる。
- 第3条 本会は会員の教養を高め、相互の親睦を図ると共に母校の発展を援助することを目的とする。
- 第4条 本会は次の会員および客員を以て組織する。
1. 会 員 (イ) 舞鶴高等女学校、舞鶴第一高等女学校卒業生
(ロ) 舞鶴中学校、舞鶴第一中学校卒業生
(ハ) 西舞鶴高等学校卒業生
(ニ) 以上の学校に在学したもので入会を希望する者
 2. 客 員 1項に該当する学校の旧職員および現職員
- 第5条 本会の目標達成のため委員会をおくことができる。委員長には副会長の一人を充てる。
- 第6条 委員会および支部の会則は別に之を定める。
- 第7条 本会に次の役員をおく。
1. 会 長 会員の中より総会で選出する。
 2. 副会長 理事の中より若干名を選出する。
 3. 理事長・副理事長 理事の中より各1名会長が委嘱する。
 4. 庶務理事・会計理事 学校より推薦した若干名および評議員より若干名を会長が委嘱する。
 5. 理 事 評議員の中より適当数会長が委嘱する。
 6. 評議員 各学年において互選により適当数を選出する。
 7. 監 査 評議員の中から2名選出する。
- 第8条 役員は次の通りとする。
1. 会長は本会を代表し会務を総理する。
 2. 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはこれに代わる。
 3. 理事長は会務全般を処理する。副理事長は理事長を補佐し理事長事故あるときはこれに代わる。
 4. 庶務理事は庶務を処理し、会計理事は会計を処理する。
 5. 理事は理事会において総会附議事項を審議する。
 6. 評議員は総会で総会附議事項を審議する。
 7. 監査は会計を監査する。
- 第9条 役員の任期は2ケ年とする。
- 第10条 本会に顧問若干名、参与若干名を置くことができる。
- 第11条 顧問に西舞鶴高等学校長その他適当な学校関係者を会長が委嘱する。
- 第12条 参与に元会長を会長が委嘱する。
- 第13条 本会の経費は会費およびその他収入をもってこれに充てる。
- 第14条 本会の入会に際して会費4,000円を納める。
- 第15条 本会は第3条の目的を達成するため次の事業を行う。
1. 会員名簿および会報の発行
 2. 会員の慶弔および慰問
 3. その他必要な事業
- 第16条 本会は毎年1回総会を開く。総会は理事、監査、評議員で構成する。
- 第17条 会員は転居等の変動を遅滞なく本部に報告するものとする。
- 第18条 本会会則の変更は総会の決議による。
- 付 則
- ①改定：第14条末尾の「部会」は毎年1回これを開く。」を削除する。(平成21年6月13日)
 - ②改定：第5条、第6条、第7条、第8条、第14条、第15条を改定する。(平成24年6月9日)
 - ③改定：第7条4項を改定する。(平成28年6月11日)

双鶴同窓会各支部役員

【東京支部】

支部長 團 野 耕 一 (昭48高)
 事務局長 澤 田 謙 二 (昭48高)
 「事務局」〒216-0035
 神奈川県川崎市宮前区馬絹4丁目18番14
 藤和宮崎台コープ201 (澤田)
 TEL 080-1025-3695 (携帯)
 メールアドレス jury-22@lagoon.ocn.ne.jp

【京都支部】

支部長 齋 藤 敏 明 (昭36高)
 事務局長 志 茂 洋 文 (昭49高)
 「事務局」〒602-8161
 京都府京都市上京区新御幸町33-1 (志茂)
 TEL 090-2102-5017 (携帯)
 メールアドレス h.simons324teardrop@nifty.com

【阪神支部】

支部長 谷 村 久 兄 雄 (昭42高)
 事務局長 坂 根 章 二 (昭48高)
 「事務局」〒586-0021
 大阪府河内長野市原町4-8-712 (坂根)
 TEL 0721-56-7124 (自)
 メールアドレス oyajicch-s@docomo.ne.jp

【通信制課程役員】

◎通信制の会会長 岩 田 護 (平9通) 本部・理事

双鶴同窓会本部役員

会 長 内 藤 行 雄 (昭41高)
 副会長 南部 正 治 (昭51高)
 志 摩 敏 樹 (昭56高)
 左 織 美 紀 恵 (昭56高)
 佐 古 田 政 彰 (昭58高)
 理 事 長 渡 辺 弘 (昭48高)
 副理事長 林 博 之 (昭59高)
 庶務理事 米 山 隆 一 朗 (昭51高)
 (ホームページ担当)
 森 宏 昭 (昭56高)
 中 西 毅 (昭49高)
 梅 原 み ち る (昭61高)
 阪 昌 代 (昭61高)
 浅 田 和 範 (平13高)
 木 南 成 明 (平19高)
 会計理事 白 井 俊 博 (平19高)
 監 査 甲 斐 嶋 純 二 (昭48高)
 福 井 啓 介 (昭52高)
 顧 問 田 邊 仁 司 校 長
 奥 本 有 紀 全 日 制 副 校 長
 武 内 勇 通 信 制 副 校 長
 奥 野 久 美 子 事 務 長
 参 与 南 房 夫 第 8 代 会 長 (昭32高)

双鶴同窓会ホームページ

「双鶴同窓会」で検索して下さい。

寄稿のお願い

同窓会報に原稿をお寄せください。「同期会などの様子」「同窓会員さんの御活躍の様子」など文章や写真でお寄せください。

西舞鶴高等学校双鶴同窓会「会報編集係」までよろしくお願いします。

編集後記

今年は一月一日と三日と連続での卒業三十周年同窓会の開催となりました。平成二年卒業生につきましては、コロナ禍の影響により四年越しということで、開催にあたり大変苦労されたとお聞きしています。連日ともに無事に開催できたことをありがたう思います。

当日は、懐かしい先生との再会や卒業以来の同窓生との再会と、三十年という長い年月も一瞬でタイムスリップし、先生方も同窓生も青春時代の思い出話から現状の話と盛り上がり、本当に楽しい素敵な一日となりました。同窓会の案内にあたり、実行委員会を中心に各クラスにライングループが作成され、たくさんの繋がりができました。今回参加できなかった人、まだまだ話したりできなかった人、今後ゆっくりと会話をする機会が増えるのではないのでしょうか。

三十年ぶりのご縁と西舞鶴高校卒業生という絆を大切に、この先の人生も楽しく幸せに暮らせればと思います。

今回双鶴同窓会会報の発刊にあたりまして、同窓会会長様や校長先生をはじめ、諸先輩方から投稿いただきましたことに深く感謝し、厚くお礼申し上げます。同窓会を始め会報の編集に携わることに、再び西舞鶴高校と関わることで、大変貴重な経験をさせていただくことができました。ありがとうございました。

編集委員 (平成六年卒業) 川端 征 義